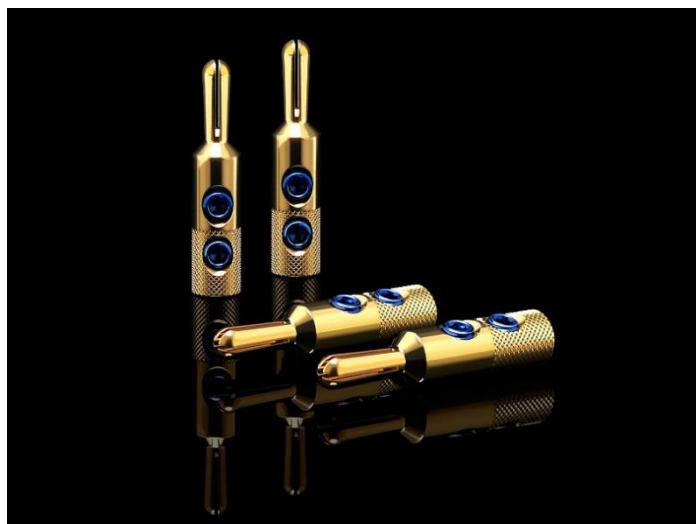


SGBN

情報解禁日:2022 年 11 月 25 日(金)正午

発売日:2022 年 12 月 2 日(金)



オヤイデ電気は、“SGBN” 純銀+厚肉 24K 金メッキバナナプラグを 2022 年 12 月に新発売します。

今まで無かった金メッキプラグと銀メッキプラグの良さを併せ持ちつつ、耐久性のあるバナナプラグを実現

シンプルに研ぎすまれたデザイン、こだわり抜いたディテールと非磁性リン青銅素材はそのままに、今回スピーカー端子接続用プラグに適した新しいメッキコンビネーションを見つけるため、メッキ工場の協力を得て 2 年前から“SGBN”の開発はスタートしました。厚肉 24K 金メッキをベースに、メッキ素材の組み合わせや各メッキの厚みを変えて試作を 10 種類以上製作。幾度となく比較試験テストを繰り返し、音質、耐久性共に最良の結果となった純銀+厚肉 24K 金メッキを選択して、金メッキが与える長期安定性と癖のない中域レンジの位相特性の良さを生かしつつ、高域レンジが伸びるように銀メッキを下地に施すことで絶妙にチューニングをしてグレードアップを図りました。

先端径は、WBT 製スピーカー端子をスタンダードにサイズを選定。もちろん、WBT 以外のスピーカー端子でも検証を重ね、一般的なバナナプラグ用受け端子にも適応します。そしてケーブル導体を確実に挟み込むため、ケーブル挿入径(4mm)に対し、直径 5mm の高剛性ステンレス製止めねじを採用。これによりケーブル導体の撚り線部分を逃がすことなく接触面積を最大限に確保して完璧な形で接続します。

本体は手作業により丁寧に一個一個バフ研磨され、鏡面加工を施します。完璧なまでに磨き上げられた本体は、純銀、厚肉 24K 金メッキの二度にわたるプレーティングを施され、ブルー・スクリュウと共に“SGBN”を高品位でエレガントに演出しました。

製品詳細

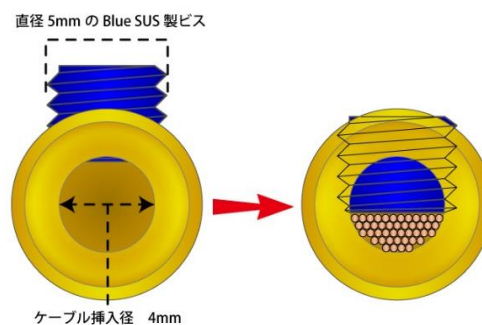
素材・構造

スムーズ・アンド・タイト。“SGBN”が目指したのは素材の持つ特性のみで、このテーマを完結する事でした。最少部品点数で確実なホールド感を実現するためにリン青銅を採用。リン青銅はその優れたバネ性と電気特性から、電気製品の要とも言える接点に数多く採用されています。

“SGBN”をプランニングするにあたり、最も注意を払った部分が先端のコンタクト周りにあります。最大限の接触面積を確保するため、先端部はクロススリットをいれ4分割し、挿入時にスリットが密着されるように設計。先端経はWBT社製のスピーカー端子に完全に合致するように設計されています。標準値3.8mmから30 μ 単位で十数種類に及ぶサンプルを作成し、最も“スムーズ・アンド・タイト”と言えるサイズと形状を選定。またWBT社製以外のスピーカー端子も検証を重ね、どのようなバナナプラグ用受け端子にも適応します。

“SGBN”はケーブルとの接合にも、オヤイデらしい配慮がなされ、適応ケーブル径最大4mm(5.5sq)に設定されたケーブル挿入部はテーパ加工を施し、撚り線の本体への挿入を容易にしました。

接続方式はデュアルスクリークランプ方式を採用。ケーブルと本体は2つのスクリーにより確実な接触と固定を実現しました。さらに、ケーブルを固定するためのスクリー部分にもこだわりを見せます。直径4mmのケーブル貫通部に対し、直径5mmの高剛性ステンレス製止めねじを使用。これにより本体とスクリー部の隙間を排除し接触面積を最大限確保しました。



加工

その卓越した切削精度により作り上げられた“SGBN”。8mmのリン青銅丸棒を高度にプログラムされたCNCマシニングによって、高い精度で切削加工が施されています。削りだされた本体は、機械的にバレル研磨されその後、磨き職人の手により1つ1つバフ研磨を施し、平滑鏡面仕上げされています。

メッキ

鏡面仕上げされた本体は下地に純銀メッキを施したのち、厚肉24K金メッキによって仕上げられます。

一般的に金メッキは低域から中高域まで癖のない素直な特性を持つのですが、高域レンジの伸びが若干物足りなく感じる場合があります。“SGBN”は、金メッキが与える長期安定性と癖のない中域レンジの位相特性の良さを生かしつつ、高域レンジが伸びるように銀メッキを下地に施すことで絶妙にチューニングをしています。

また新しいメッキコンビネーションの長期安定性を確認するために、1 年半以上の継続使用テストもクリアし、信頼性も万全を期しています。一般的な金メッキ端子は食われ防止の為に下地に磁性を持つ電気ニッケルメッキを使用していますが、オヤイデ製品の金メッキは電気ニッケルを排除することによって音質劣化を防止しています。

鏡面仕上げ、そしてダイレクトメッキ。シンプルだからこそ作りこまなければならない。ここにも、オヤイデ電気の哲学と、クラフトマンシップが凝縮されているのです。「Made in Japan」という誇り。“SGBN”は、高度に磨き上げられたジャパニーズ・クラフトマンシップの証なのです。

SGBN の特徴

- 新しい純銀メッキ下地+厚肉 24 金メッキ仕上げ
- 金メッキが与える長期安定性と癖のない中域レンジの位相特性の良さを生かしつつ、高域レンジが伸びるように銀メッキを下地に施すことで絶妙にチューニング
- WBT 製スピーカーターミナルをスタンダードにサイズを選定。30 ミクロン単位で十数回にも及ぶカットアンドトライを重ね、容易に挿入でき、抜けにくいスイートスポットを選定
- リン青銅の優れたバネ性を発揮させるため、先端挿入部に十字スリットを入れ、ターミナルへの密着性を向上。接触面積を最大限に確保
- 直径 4mm のケーブル貫通部に対し、直径 5mm の高剛性ブルー・ステンレス製止めねじを使用。これにより本体とスクリュー部の隙間を排除し、ケーブルと本体は 2 つのスクリューにより確実な接触と固定を実現
- 直径 8mm のリン青銅丸棒を CNC マシニングによって、高い精度で切削加工
- 機械的にバレル研磨された後、人の手により 1 つ 1 つバフ研磨で鏡面処理

製品仕様

品名	SGBN
材質	リン青銅（RoHS 対応）
メッキ	純銀メッキ下地+厚肉 24K 金メッキ
ケーブル接続方法	デュアルスクリュークランプ方式
電極径	最大約 4.6mm 最小約 4.25mm
適応ケーブル径	～4.0mm (5.5sq)
梱包数	4 個 組
その他	L 型六角レンチ付属
JAN CODE	4582387109744
価格	オープンプライス:実勢価格 8,580 円 (税込)
発売年月日	2022年12月2日(金)

■2022 年、オヤイデ電気は創業 70 周年を迎えます！！

http://www.oyaide.com/ja/news/70th_anniversary

オヤイデ電気（小柳出電気商会）は、戦後復興から間もない激動の時代であった昭和 27 年（1952 年）、東京・秋葉原（旧町名・神田花田町）の一坪半ほどのスペースにて小柳出一二（おやいで・かずじ）が創業。当初は、マグネットワイヤーや絶縁材料などの切り売りからスタート。その後に産業用電線などを広く販売し、「要るものを要るだけをモットーに」ケーブル専門店として礎を築く。1970 年代になると、一部の評論家やマニアの間でオーディオ用の線材が求められ、「電線によって音が変わる」という概念がまだなかった時代に、オヤイデ電気もオーディオ専用ケーブルの開発をスタート。昭和 55 年（1980 年）にオヤイデ電気初のスピーカー・ケーブル「OR-800」が誕生。そのきっかけはオーディオ評論家の江川三郎氏と小柳出一二の出会いからだ。1980 年代に入ると電源にも着目し、昭和 60 年（1985 年）1 月、オヤイデ電気初の電源タップ「OCB-1（オヤイデ・コンセント・ボックス・1 号）」が販売開始。その後もオヤイデ電気は、「ケーブルで音が良くなる」という新たな概念を世の中に浸透させることに大きく貢献し、L/i 50 シリーズ、OCB-1 シリーズ、MTB シリーズ、そして TUNAMI シリーズなどのヒット商品を多数生み出してきた。さらにハイエンドオーディオのみならず、音楽制作や楽器演奏などのプロフェッショナルユースのブランド「NEO」や、DJ や DTM など時代に敏感に反応した「d+」シリーズもスタート。その勢いは国内に留まらず、世界 50 カ国以上に輸出され、世界中にオヤイデユーザーを獲得している。秋葉原の一坪半から始まったオヤイデ電気は、70 年という長い歴史を経て、世界の OYAIDE として認められるまでに成長を遂げている。

【製品画像・ダウンロードリンク】

本製品の製品画像は下記リンクよりダウンロードをお願いいたします。

<https://www.dropbox.com/sh/migrq1xlpny3h8v/AADY6XVHqWLTZMC58nGVYX1xa>

【本件に関するお問合せ先】

株式会社小柳出電気商会

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-6

[TEL:03-5684-2151](tel:03-5684-2151)

【オヤイデ電気製品コーポレートサイト】

<http://www.oyaide.com/>

情報のご掲載・拡販、ご協力のほど何卒宜しくお願いいたします。



製造・販売元 株式会社 小柳出電気商会 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-6 Tel：03-5684-2151 Fax：03-5684-2150
直売店：オヤイデ電気 〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-4-13 Tel：03-3253-9351 Fax：03-3253-9353
オンラインショップ・製品詳細 URL：http://www.oyaide.com E-mail：webshop@oyaide.com